

北九州市立大学学位授与式 理事長挨拶

理事長の津田でございます。

本日、学位を取得した皆さん、誠におめでとうございます。

本来でしたら、皆さんのご家族や関係者の方々にも、この式にご参列いただくべきところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からご遠慮いただきました。どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。

皆さんは、大学生活の大半を、新型コロナウイルスと共に過ごされてきました。厳しい学生生活を余儀なくされ、心が折れそうになることもあったのではないかと思います。その中でくじけることなく勉学や課外活動などに取り組み、今日のよき日を迎えられたことに対し、大いに敬意を表すると共に心からお祝いを申し上げます。

さて、日本は、「アフターコロナ」に向かって、人流も回復をみせ賑わいが戻り始めています。しかし、その先行きはロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国のインフレ対策等による世界的な景気後退懸念など、厳しさを増しております。

このような状況において、グリーントランスフォーメーション、デジタルトランスフォーメーションといった新たな社会への転換への投資を

大胆に拡大するとともに、成長分野への円滑な労働移動など、新たな経済構造への変革を進めることが求められています。

皆さんを取り巻く社会環境は変革の時代を迎えています。これは皆さんの活躍の機会です。果敢にチャレンジしていただきたいと思ひます。

在学中に得た知識や経験を活かし、地域や世界をフィールドに、大いに活躍されることを期待しています。

さて、公立大学を卒業した皆さんには、これからも地域や社会に貢献する人材となっていたかくことを強く望んでいます。その過程においては、皆さんが抱いている希望と現実とのギャップを始め、様々な苦難に直面することもあると思います。厳しい大学生活を乗り越えた経験も活かしながら、社会を牽引する人材へと成長してくれることを願っています。

最後になりますが、これまで皆さんの成長を見守り、支えてくれた方々への感謝を忘れず、本学の卒業生であることに誇りを持ち、自らの人生を切り拓いてください。皆さんが新天地で大いに活躍されることを祈念いたしました。私の挨拶といたします。

二〇二三年三月二十四日